



キルギス共和国日本語教師会会報

第 65 号 2022 年 7 月 14 日発行

Вестник Ассоциации
преподавателей

японского языка

Кыргызской Республики

№ 65 от 14.07.2022 г.

2022 年度国際交流基金助成事業

キルギス共和国日本語弁論大会実施報告

日本語弁論大会実行委員会 ママーシェワ・ジィデグーリ



▼2022 年 4 月 16 日 (土) 10 時から JF 国際交流基金の助成を受けたキルギス共和国日本語教師会主催「キルギス共和国日本語弁論大会」が開催され、キルギス国内日本語教育機関から日本語学習者 14 名が出場した。新型コロナウイルスによる感染予防のため 2020 年大会から 2 年間オンライン開催だったが、今回は以前のように出場者と応援者がホールに集い、熱気を肌で感じる事ができた。

▼出場者は前半と後半 7 名ずつに分かれてスピーチし、全員の発表終了後のアトラクションでは、ビシケク国立大学、オシュ国立教育大学、キルギス総合大学、日本センター他からの学習者がダンスや歌を披露してくれた。

▼審査結果は次のとおり。

- 1 位 ジュマリ・クズ・エリナ(オシュ国立教育大学)
- 2 位 アブドゥモムン・クズ・アイダナ(同上)
- 3 位 バサルクロフ・デニス(ビシケク国立大学)
- 4 位 アスカルベコヴ・ダスタン(中央アジアアメリカ大学)
- 5 位 イストミン・リナット(キルギス日本人材開発センター)
- 6 位 カナットベコワ・レイラ(キルギス国立総合大学)

▼出場者全員には参加賞、そして、入賞者には副賞として主催者からの賞金のほか後援機関提供の記念品が贈られた。特に、1 位と 2 位の入賞者は副賞賞金に加えてイシェンバイ・アブドラザコフ記念基金奨励金が贈られた。



* * * * *

▼今大会へのご支援に対し、在キルギス共和国日本国大使館、国際協力機構 JICA キルギス共和国事務所、キルギス・日本ビジネス協議会、キルギス共和国日本人会、株式会社ジャパンスマイル、キルギス国立総合大学、キルギス共和国日本人材開発センター、NH Tabi Company、Gakken Classroom DK Center、異文化コミュニケーションセンター NAMI & CO、UNIQUE TECHNOLOGIES IT COMPANY の各位様に心より感謝申し上げます。

キルギス国内弁論大会を終えて感じた3つの「前進」

2022年キルギス共和国日本語弁論大会審査委員長：坂下 太一

国際交流基金 日本語専門家（キルギス共和国日本人材開発センター派遣）



▶国際交流基金日本語専門家の坂下です。今回で、このキルギス日本語弁論大会では3回目の審査員業務を担当させていただくことになりましたが、今回の弁論大会を通してキルギスの日本語教育には3つの前進と呼べる成果があったと考えています。

▶次に私が感じた「前進」は地方都市への日本語教育の普及です。今回はオシュ国立教育大学の参加者2名が1位、2位を受賞することになりましたが、お二人の発表からビシケク以外の日本語学習者の熱量、レベルの高さを感じ取ることができました。今年度の彼女たちの活躍は、オシュだけではなく、地方で日本語を学んでいる学生にとって更なる励みになるのではないのでしょうか。発表内容もビシケク市内の学生とは異なる経験が弁論に生かされており、非常に興味深いものでした。

▶まず一つ目は新型コロナウイルスの影響により、2020年から停止されていたオフラインイベントが再開できたことです。もちろん2022年の弁論大会をこうして行えたのは、皆様の努力により、過去2年間の大会をオンライン形式で継続していただいたことが大きいと思います。オンラインイベントを実施した経験は今後の日本語教師会の活動の可能性を広げるものになると思われます。

▶最後の「前進」は、今回の弁論大会が在留邦人の少ない状況であったにもかかわらず、実行委員を中心とするキルギス人日本語教師の方々が自主的に行動し、素晴らしい弁論大会を開催してくださったことです。特に教師会会長のグリザット先生は体調不良の中、大会の実施のために御尽力いただいたことを大変感謝しております。今年度の経験を通して運営を担当する先生方は大きな自信を得られたのではないかと思います。

▶しかし今年度の発表を振り返りますと、不思議なもので、撮り直しが可能な過去2年間のビデオ発表よりも完成度の高い発表が多かったように思われます。また、当然ながら学生の真剣さ、緊張感、迫力、表現力の高さはオンラインイベントの際には感じられないものでした。私以外の審査員の方からも入賞者に限らず全体的に非常に前向きに評価されていました。

▶最後になりますが、今回、素晴らしい弁論大会を披露してくださった関係者、参加者の皆さんに感謝の言葉を述べるとともに、今後もこの日本語弁論大会が、キルギスの日本語教育、日本語学習の発展に貢献することを祈念しております。



日本語弁論大会に出場して～入賞者の感想～①

ジュマリ・クズ・エリナ（1位 オシユ国立教育大学 3年）

◆私は2022年4月16日に開催された日本語弁論大会に出場し、1位になりました。14人の出場者のうちトップになったことを神様に感謝しています。自分でも誇りに思います。もちろん、自分でも精一杯努力しましたが、優勝するとは全然思わなかったです。「せめて6位に入賞できたらいいな」と思っていました。弁論大会に出場するのは初めてでしたから、緊張しましたが、もし失敗してもとってもいい経験になると思っていました。

◆スピーチは、話したい内容をまずキルギス語で書いてからママーシェワ・ジデグーリ先生に手伝ってもらって日本語に訳しました。弁論大会に出場できて、いい発表ができたのは、先生のサポートと励ましのおかげです。

◆結果発表の時のことは一生忘れられないと思います。自分が1位になったのを聞いたとたん、嬉しくて泣きだしてしまいました。父と母が生きていてくれたら、きっと応援に来てくれたのにと思いました。でも、大好きな先生や仲良しの友達がいてくれて、私は幸せです。

◆大会を実施してくれたキルギス日本語教師会に御礼申し上げます。私たち日本語学習者に素晴らしい経験をプレゼントしてくれました。



アスカルベコヴ・ダスタン（4位 中央アジアアメリカ大学 1年）



◆今年ビシュケクで行われた日本語弁論大会に参加し、4位になりました。私はずっと弁論大会のことをよくあるクラブなどで意見を述べるただの発表会のようなものだと思っていました。

◆大会当日になって初めて、とても大きなイベントだと知って、驚きました。参加者も日本の方も大勢で、「原稿ちゃんと覚えているかな、もう一回練習した方がいいかな」と、急に不安になってきました。

でも、友達の手拍や応援のおかげで、落ち着いて発表することができました。

◆今回、日本語弁論大会に出場したことは、とてもいい経験です。おかげで、もっとがんばろうと思うようになりました。また機会があったら、ぜひ日本語弁論大会に参加したいと思っています。

◆日本語弁論大会のスポンサーのみなさん、素晴らしいプレゼントをありがとうございました！KRJC, JICA, GAKKEN CLASSROOM, TENSAI SCHOOL にとても感謝しています。ありがとうございました。

アブドゥモムン・クズ・アイダナ（2位 オシユ国立教育大学 3年）

◆私は弁論大会で2位に入賞することができました。ジデグーリ先生の指導がなければ、この結果はなかったと思います。先生、ありがとうございました。私は、もっともっとやる気が出てきました。

◆私が「キルギス・ランチタイム」で取り上げた「時間が守られない」という問題は、どこの国でも見られる問題だと思います。私のスピーチを聞いてくれた人たちが、時間を守ることに前よりももっと責任を持とうと思ってくれたら嬉しく思います。

◆弁論大会は、プログラムに書かれた通りの時間に始まりました。「すばらしい！これが日本タイムなんだ」と、私はとても感動しました。

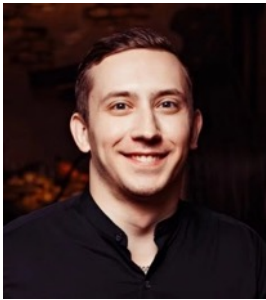
◆会場の雰囲気もとても良かったです。キルギスと日本の友好の橋渡しをしている偉い人たちが来てくれていました。審査員の一人、日本の前田大使が褒めてくださって、とっても嬉しかったです。

◆そして、ビシケクの大学で日本語を学んでいる他の出場者たちと仲良くなったことも、弁論大会のおかげです。大会を主催してくれた日本語教師会の先生方、本当にありがとうございました。



日本語弁論大会に出場して～入賞者の感想～②

イストミン・リナット（5位 キルギス共和国日本人材開発センター 3年）



◆私は生まれも育ちもビシケクです。現在、キルギス共和国日本人材開発センターの日本語コースで日本語を勉強しています。

◆4月16日に開催された「キルギス日本語弁論大会」で5位に入賞しました。

スピーチでは、日本語が好きなことや日本文化に興味があることと将来の計画についていくつかのエピソードを交えて発表しました。

◆私が日本やその文化、言語に興味を持ち始めたのはずっと昔、10歳のときでした。初めて触れた日本のカルチャーはテレビゲームでした。特に「ファイナルファンタジー」シリーズにはこれからもずっと魅了され続けると思います。初めての日本語学習はちょうどその頃です。何度も勉強のチャンスはあったのですが、色々わけがあってすべてうまくいきませんでした。

◆日本への関心はもちろんゲームだけにとどまりません。アニメやハイテク、伝統音楽や建築など、日本文化のほぼすべての分野に興味があります。茶道や日本の昔話にも関心を持っています。

◆パンデミック時には、キルギス日本人材開発センターと「まるごと講座」が、私にとって一筋の光でした。優れた講師陣と質の高い学習教材が私を魅了し、言葉を学ぶことへの興味を再び呼び起こし、日本文化への愛情を思い出させてくれたおかげで、学習を着実に進めることができました。日本センターのコースで日本語を勉強して本当によかったと思っています。

◆弁論大会に出場し、長い間思い描いていた通り、日本語学習を通じてこの素晴らしい国の文化に浸る旅を本格的に始められるような気がします。この素晴らしいイベントに参加したことで、多彩で魅力ある優秀な人々と出会うことができました。

◆日本語と日本に関する知識のレベルを向上させる機会を与えてくださった日本センターと日本語弁論大会の実行委員会の方々、そして大会の運営に携わったすべての人に心から感謝しています。楽しい感動と思い出に加え、たくさんのプレゼントをいただきました。主催者とサポートしてくださった方々に、特別な感謝を申し上げたいと思います。

◆私はこれからも日本語と日本文化を学び続け、近い将来日本旅行に出発するつもりです。今からその日を心待ちにしています。

バザールクロフ・デニス（3位 ビシケク国立大学 3年）

◆はじめは、弁論大会に参加するかしないか、なかなか決められないでいました。どうしよう、と悩んでいるうちに思い出したのがスピーチで触れた先生のことばでした。私に、プロセスを楽しみながら目標に向かっていこうという気にさせてくれたことばです。「多くの失敗のおかげでたくさんのものが生み出されてきた」という先生のことばを思い出して、自分が味わった失敗について話すことにしたのです。

◆私は3位でした。弁論大会に出場できたのはビシケク国立大学の先生のおかげです。練習では風間先生にお世話になりました。そして名美先生のアドバイスもあって、いい発表ができたと思っています。

◆私は大会に出場する準備のプロセスを毎日楽しみながら練習し、とうとう弁論大会の日を迎えました。その日はとても緊張していました。でも、大学の先生たちの姿を見てリラックスすることができました。

友人たちも応援に来てくれて嬉しかったです。◆私は、他の人のスピーチを聞きながら出場者一人一人が味わった経験を感じていました。弁論大会という大きなイベントにプロセスを楽しみながら参加できたと思います。これからも、積極的にいろいろなことに挑戦していくつもりです。



1位から5位までの入賞者が寄稿してくれました
続いて応援学生から寄せられた感想を紹介します

応援学生による日本語弁論大会印象記

アキモフ・バヤマーン (ビシケク国立大学 2年)

◆私は今年の日本語弁論大会に大きな刺激を受けました。出場者のスピーチ、パフォーマンス、思いを伝えようとする一生懸命さ、全てに圧倒されました。自分もあんなふうになりたいと思わせるあの雰囲気は他では味わえないものです。

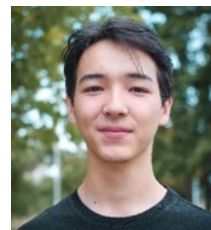
◆これまで私は日本語弁論大会のようなイベントには参加したことがありませんでした。今回初めて聴衆として参加して、私は、自分自身はもちろん、同じような学生たちにとって指標となるものを見つけた気がします。

◆まず、失敗を恐れず挑戦してみることです。出場者は皆、一度の失敗にめげたりしない強い意志の人たちです。自分も何かやりたいことがあるのなら、彼らと同じく自分の願望に忠実であるべきだと思います。

◆次に、学びがとても大切なことだと再確認しました。今の時代、何かを学び続けることが大事で、学びがなければ何も達成することなく一生を終えてしまうかもしれません。

◆また、積極的に自分をアピールすることも大事です。自信を持って自己表現すること、それができなければ、結果に巡り会えません。

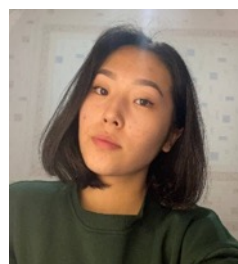
◆スピーチはどれもが個性的で独特でしたが、個人的には「本には人生を変える力がある」という、大学の先輩のスピーチが気に入りました。私も本が好きなので、先輩がみんなに伝えたかったことがよく理解できました。そして今、私は来年は自分が出場者の一人として登壇したいと思っています。



マムイートワ・アリヤー (ビシケク国立大学 2年)

◆スピーチを競うコンクールは素晴らしかったです。私は大学や日本センターの友達を応援するために聴衆として参加しました。大会はとても組織的に運営されて最高レベルでした。ホールは静寂に包まれて聴衆からの尊敬と応援を感じることができました。

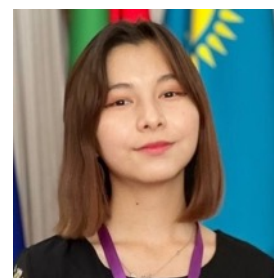
◆私たちの大学からは3人の学生が出場しました。14人の出場者それぞれの主張内容、発音、伝え方、口調の違いに興味深く観察し、この日のためにみんな最高のパフォーマンスを披露しようと懸命に努力してきたのだということがよくわかりました。こんな、思いがけず最高の自分自身を発見できる素晴らしいイベントが我が国で開催されてとてもうれしく思います。



◆コンテストの最後、審査結果の発表をみんな辛抱強く待ちました。入賞者は6人、出場者全員への参加賞のほか、様々な賞が用意されていました。受け取った賞状だけでなくスピーチを終えた14人の心には、達成感や特別の感情が湧いたと思います。誰もが幸せな気持ちを残してくれたとしたら私も嬉しくなります。

◆大会終了後、私はみんなに応援の言葉をかけ、一緒に写真を撮りました。いつまでも残しておきたい思い出の一枚です。

セイデナリア・エミーラ (ビシケク国立大学 3年)



◆今年の日本語弁論大会に私はリスナーとして参加しました。会場はキルギス国立総合大学でした。

◆スピーチは、自分の失敗について考察した人もいれば、失敗を明るく笑い飛ばす人、初恋の話をしてくれた人もいて、内容は一様ではありませんでした。私は何より障害者の統合という私たちの社会にとって本当に重要なトピックを提起した発表に好感を持ちました。

◆総じて、どのスピーチも非常にバイタリティに溢れ、聴く人それぞれを、まるでもう一人の自分を見つけたような気にさせる内容だったと思います。

◆出場者の日本語との出会いは様々です。小学生の時から興味を持った人もいれば、大学で専攻にした人も、コースに通って勉強している人もいるし、独学の人もいます。住んでいる町も年齢も、国籍さえも異なる人々が、日本語という同じプラットフォームで出会えるのは、日本語弁論大会のような素晴らしいイベントがあるおかげです。

◆出場者も観客もたまたま友人の応援に駆けつけた人も、日本の文化や言語を愛することで連帯できるのです。この、多くの仲間との実践的な出会いの機会は今後も発展させていくことが非常に重要です。今回私はリスナーとしてこの活気に満ちた温かい雰囲気に浸ることができました。次回はスピーカーとして"エクセレント"なスピーチを届けたいと思っています。



「キルギス日本天才学校」の日本語教育紹介

ジオルブラコワ・マイラム (キルギス日本天才学校 教員)



▶2018年にシャラポワ・ジベックとニヤゾワ・アイペリの開校した天才学校の「天才」には「才能」「知性」「能力」という意味が含まれています。当初は3歳から15歳までの生徒を受け入れていましたが、昨年日本の高等学校1年と2年に相当する2学年を開設しました。生徒数は約170名、教員は非常勤を含めて約50名です。

教員は、校長、副校長、教師で構成

- 日本語現地教師3人、日本人教師1人
- 英語現地教師4人、イギリス人教師1人
- ロシア語教師2人、キルギス語教師2人
- 所属教員は全員高等専門教育修了、5年以上の教授経験を有す。
- 英語と日本語は日本とイギリス出身の有資格者が教えています。
- 各教師は面接とデモレッスンを経て採用。



天才学校の教育目標

▶生徒が高校を卒業後、日本や世界の優秀な大学に留学できるよう、生徒の将来の夢の実現を支援することを第一目標とし、キルギス語とロシア語に加え、日本語と英語の4言語の教育を行っています。外国語教育では特に日本語に力を入れています。中等教育前期(小学校)からスポーツ、科学、技術分野の専門教育を行っていることも他の学校にはない特色です。パソコンルームも設置し、生徒のITリテラシーの向上にも取り組んでいます。

教務チームの主な仕事内容

- 伝統的な学校行事を通して生徒の一般教養を高め子どもの才能を見極める。
- クラブ、スポーツ部門、教師、生徒、保護者の共同創作活動を通して、創作的な雰囲気を作り、生徒の創作能力を確認し開発する。
- 道徳的文化と視野の拡大、精神的文化的発達、学習教材の改善のための事前準備。
- 児童生徒の社会的活動、集団生活と社会生活の組織における自立を目指し責任感を涵養する。
- 健康的な生き方を推進。

キルギス日本天才学校の指導方針

- 質の高い教育、日本の教育理念、キルギス人の伝統、マナス七訓に基づく民族教育。
- 柔軟で調和のとれた人格形成。
- 2つの民族文化圏を結ぶことで、それぞれの教育の質の向上と社会化に努める。
- 個別アプローチとして児童生徒の心理的特性に焦点を当て、個々の能力に対応している。教師は児童生徒の興味を引き出すよう努めている。

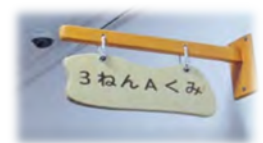
学習・課外活動



- 生徒会、チェスクラブ、歴史クラブ、自然科学実験室、空手教室、ダンススタジオ、ビジュアルアートスタジオなど。
- 全生徒に朝食、昼食、午後のおやつ。
- 同級生とのバースディケーキも衛生上、担任が監督して学校食堂で食す。
- 自宅から学校までのシャトルバス送迎を運行する。
- 遠足などにも利用する。

日本語学習の使用教材と学習時間

- 2年生：おひさま「はじめのいっぽ」、ひらがな帳、生教材
- 3年生：ひろこさんのたのしいにほんご1、おひさま「はじめのいっぽ」
- 4年生：外国人の子供の日本語、ちびむすドリル
- 5年生以上：外国人の子供の日本語、ちびむすドリル、生教材
- 週当たりの時間数：40分1時限で週3時間(年間102時間)



日本語学習活動

- 日本語の授業以外、日本の文化を紹介するためにさまざまな活動が行われる。
- 折り紙、将棋、書道、生花、日本料理などの紹介。
- 日本の大学や小中高校と天才学校の生徒のオンラインイベント。

四季の美しさと 幸せの感触

アルマシェワ・マリカ（ビシケク国立大学3年）

◇季節が変化する瞬間、幸せを感じるがあります。風が雨と競い合い樹々を黄金に染めていくとき、雨がいつの間にか雪に変身するとき、太陽が笑顔で暖かさを振りまいて灰色の空を春色に変えるとき、季節が移り変わる美しさに気付きます。

★秋は色鮮やかな季節です。自然は夏とは異なる秋の色で木の葉を包んでいきます。秋の時間はロマンチックです。片手にココアのカップ、もう一方の手に本を持つのなら19世紀の雰囲気いっぱいの作品を読みたくくなります。夜の街の心地よいざわめきを聞きながら街灯の明かりを楽しむことができます。水滴が地面に落ちてこないうちに雨の匂いがしてきます。そして、冷たい雨が降り始めて、なかなか止みそうもないと思ったら、DVDプレーヤーをオンにしましょう。毛布にくるまって好きな映画を観てください。子供の頃テレビの前に家族みんなが集まったことを思い出して体も心も温かくなってきます。



🌸春の美しさも格別です。太陽の最初の暖かい光が冬の後ろ姿を照らしはじめるとき、緑色した植物が冷たい地面から初めて姿を見せるとき、旅から戻った鳥たちが再び歌を聞かせてくれるとき、モノトーンの季節は終わりを告げます。木々は芽吹き、花が咲き、畑には種が蒔かれます。春は命の季節です。そばにいてくれる人々や自分の周りの自然が愛おしくなる季節です。窓を大きく開いて春を招き入れたら、寒さから解放されて体も心も軽く、春風に乗って飛んでみたくなります。春は幸せな顔に一番出会えるときです。言葉で表せないほど春が好きです。

🌿夏は最も愉快地に過ごせる季節です。長い休暇ですから、家族や友人たちとキャンプ、水遊び、ピクニックが楽しめます。清涼な空気を味わいに森林浴に出かけるのも、険しい山に挑戦するのもいいし、名所旧跡を巡る国内旅行も素敵だと思います。

◇どの季節もそれぞれに素晴らしく美しいものですが、時間の流れに沿って季節を巡っていると、季節から次の季節への一瞬の変化に私は魅了されてしまいます。通り過ぎる一瞬一瞬の時間の匂いを思いっきり吸い込んでみてください。生きている実感がして、魂は喜びと幸せの感覚で満たされるはずです。



❄️冬は家族団欒が何よりです。ゆったりした時間が流れ、家族でゲームやおしゃべりを楽しみます。新しい年を迎える準備も始まります。ガーランドを飾ったり、ヨーグルカを用意したり、期待に胸が膨らみます。子どもたちは最初の雪を今か今かと待ち受けています。買い物を済ませ、ヨーグルカはプレゼントで、テーブルはご馳走でいっぱいになる大晦日、外では雪が静かに降りはじめます。寒い晴れた日に外に出て、雪を長靴でギュッギュッと踏み鳴らしながらの散歩も楽しみです。夜の雪が降る中をランタンに照らされた道を行くのも魅力的です。静かに雪が降る夜、私はいつまでも座って雪を眺めていたくなります。



【記載記事における表記について:編集部より】

地名や個人名のカタカナ表記は、「ビシケク国立大学」など、固有名詞として正式な日本語名称が決まっている場合をのぞき、原則として、執筆者による表記とします。そのため、掲載記事の中で「ビシケク」と「ビシケク」、「オシ」と「オシユ」など、記事によっては異なる表記となっています。

今月末に発行予定の次の会報は

「日本語弁論大会特集」特別号です。

特別号では、国内弁論大会入賞者のスピーチテキストを
審査委員コメントとともに紹介します。

また、第 25 回中央アジア日本語弁論大会参加報告記事も
お届けする予定です。

キルギス共和国日本語教師会会報 第 65 号 (2022 年 7 月 14 日発行)

編集:キルギス共和国日本語教師会広報委員会《会報編集部》



キルギス共和国日本語教師会事務局 E-mail: kajlt.jimukyoku@gmail.com

賛助会事務局 E-mail: kyoshikai.sanjokai.jimukyoku@gmail.com

会報バックナンバー https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik

KAJLT HP <http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com>

ウィキペディア <https://ja.wikipedia.org/wiki/キルギス共和国日本語教師会>

Facebook https://www.facebook.com/JLteachers.association.KR?ref=aymt_homepage_panel

<http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/バックナンバー/>

**Вестник Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики
№ 65 от 14.07.2022 г.**